

1. 研修先と期間

メキシコ国立自治大学付属語学学校 CEPE (セペ) 2017 年 8 月～2018 年 7 月



2. 研修内容

CEPE はレベル 0～8 に分類されており、レベル 0 から研修を開始し、発音や文法、会話、読解などの授業も受講した。メキシコ文化を学ぶためにサルサダンス、メキシコ料理等も受講した。昇級試験に合格したため 2 度の飛び級を経て最終的にはレベル 6 に到達、終了した。



3. 研修目標及び到達状況

スペイン語の到達目標では国際資格 DELE の B2 レベルを掲げて、CEPE の授業のみではなく市販の参考書で勉強したり、日常的にもメキシコ人と関わる機会を多く持ったりすることで効率よく語学能力を向上するよう努めた。CEPE の授業では発音やアルファベットなど一番基礎的なことを重点的に学んだため、その後の自主学習の助けとなり、CEPE の成績は常に良いものを保てたと思う。4 月に DELE の B1、7 月に DELE の B2 を受験し、両方とも合格することができた。

4. 研修に対する感想、余暇の過ごし方

各学期末にある試験によって奨学金の受給や次学期に次のレベルに上がるか決まるので、試験勉強が非常に大変だった。記述試験や口頭試験は担当教員によって傾向や採点が変わったり、普段の授業でも難しいトピックに対しても積極的な発言や発表が求められたりと情報収集や臨機応変さが必要だった。

余暇の過ごし方は、主にメキシコシティの外に旅行することが多かった。メキシコ国内は電車がほとんどないが、長距離バスが充実しているのでよく利用した。また、ホームステイ先の大家が面倒見のよい方で、その息子もシェフだったのでメキシコ料理を教わったり、食材を探しに市場を廻ったりすることもあった。



5. 日本から持参すべきもの

スペイン語参考書、電子辞書

初級レベルだとスペイン語での説明が理解するのが難しいため、母国語で学んだうえで授業に臨むと高い学習効率が得られると感じた。スマホアプリを使っている生徒もいたが、教員によってはスマホを快く思わないため電子辞書があるとよい。電池も1，2か月ですぐなくなるため大量に持参した方がよいと思った。

6. 日常生活（治安対策を含め）に関する次期参加者へのアドバイス

メキシコ人でもよく物を盗まれるので、外国人はより一層注意する必要があると感じた。現にメキシコ人の担当教員は街中で足元に置いたリュックサックを奪われ授業が大幅に遅れたことがあったし、私の周囲の CEPE の知り合いで 10 人以上が公共交通手段内で携帯を盗まれた。女性は女性専用車両に乗車するとよい。

夜間は出歩かない、露出を避けるなど基本的なことを徹底する。

7. スペイン語の到達度

・CEPE では Intermedio 2 レベルに達したか はい/いいえ

スペイン語の新聞や雑誌を読んで語彙を増やしたり、美術館や博物館にいたりしてメキシコ文化への造詣を深めた。CEPE の教材や学期末テストはメキシコ文化に関するものがほとんどなのでメキシコへの知識があれば有利になる。

8. 現地の生活で苦労したこととその解決法（病気・事故等も含む）

高山病で、特に低地から高地のシティに行くときに体調を崩すことが多かった。度々風邪や中耳炎になったし、原因不明の腹痛や吐き気で深夜に救急外来にかかり治療費に 20 万円程度かかったこともあるので保険に加入するとよい。メキシコ人は総じて運転が荒く、何度か轢かれそうになって怖かった。地下鉄のメトロは女性専用車両に乗っていたので大丈夫だったが、バスだとたまに痴漢にあう。

9. おわりに

第45期日墨グローバルパートナーシップ研修の広島卒参加者として選出していただきまして本当にありがとうございました。1年間という長いようで短い研修はあっという間に終わってしまいましたが、私の人生の中では最も凝縮された素晴らしい1年であったことは疑いようがありません。

広島県と友好提携を締結しているグアナファトを訪れる研修ではグアナファト州の現状を学び、広島から多くの企業が伸展している一方、2020年の東京オリンピックの際は広島がメキシコチームの本拠地になるなど、どんどんメキシコと広島の距離が近づいていると感じました。

メキシコでは治安の悪さもありましたが、それ以上にメキシコ人の親切さが印象に残っています。今回の研修を生かし、今後もスペイン語の向上に加え広島とグアナファト、ひいては日本とメキシコの関係がより強いものになるよう関わってまいります。



Muchas gracias!